

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム  
2021年度第14回事業審査委員会 議事録

- 1 日時：2022年3月23日(水) 17：18～18：48
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室（Web会議）
- 3 出席者の確認

事業審査委員総数6名のうち、事業審査委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

事業審査委員

学識経験者：永井 秀哉（共同代表理事）

学識経験者：石井 正子

外務省：民間援助連携室 松田俊夫（代理：佐藤 瑞紀）

学識経験者：堀場 明子（18：26 退出）

学識経験者：清水 研（18：26 退出）

事務局長：高橋 丈晴

オブザーバー

外務省：鈴木 なほみ

※松田委員が緊急対応のため欠席、佐藤事務官が代理を務めることについては、全会一致により承認。

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第12回事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認

- (2) 第二号議案：第13回臨時事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認

- (3) 第三号議案：エチオピア紛争被災者支援プログラムにかかる事業計画書の承認：2事案

〈GNJP〉エチオピア共和国北部紛争における被災者を対象とした食糧および医療薬・物資緊急支援フェーズ3

結果：承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 実施体制について、GNJPとGNEの役割が分かるように申請書に明記することおよび新職員には紛争地における事業実施に係る配慮など、前広に準備を促すこと。
2. エチオピアの専門家に申請書内容を確認して頂き、適宜対応すること。

〈PLAN〉 ガダーレフ州におけるエチオピア難民の青少年保護と心理社会的ケアの促進事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での再提出理由：

1. 本事業の持続発展性について、長期的視点で事業計画書に記載すること
2. 本日の審議を踏まえ、ライフスキル研修や交流イベント等におけるプロダクティブな部分について再考すること
3. 現地事業統括の事業管理体制、派遣前準備等について事業計画書に記載すること
4. 分科会において指摘された点（ユニフォームの枚数、バナーの必要性、リフレッシュメントの単価と数）について予算書に記載すること

(4) 第四号議案：東日本大震災被災者支援プログラムにかかる事業計画書の承認：2事案

〈AAR〉 福島県内および首都圏における東日本大震災と原発事故の被災者に対する地域交流促進によるレジリエンス強化支援

結果：承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. コンポーネント1、2の交流活動については、今までの支援内容で新たに支援できる潜在的な層も存在すると思われる。そういった層を掘り起こす施策を盛り込むこと。
2. コンポーネント3の防災・減災活動のうち、障がい者向け防災アプリケーション開発の部分については、以下の理由により削除の事
  - 内容が福島特有のものではなく、本プログラムの資金を活用する必然性に乏しい。他のファンドを利用して実施するのが適切と思われる。
  - アプリ作成後、継続的に運用していく部分の体制、資金面での説明が不十分。

〈JPF〉 福島における地元主体の支援活動体制構築

結果：再提出

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での条件：

1. 事業計画書と予算設計書の内容が一致していない部分や実施予定のない事業の記載などがあり、審査書類として問題がある。
2. コンポーネント1、及び2について、計画内容の記載が不十分なところが多く、実現性や費用の妥当性を示す根拠や資料が不足している。  
特に以下の点については、再提出の際に考慮すべき点として審査委員からのコメントがあった。
  - コンポーネント1の計画内容についてより具体的な記載。特に、中間支援団体を介して資金提供をする必要性と資金提供団体の選定基準。
  - コンポーネント2の福島被災者に対する裨益効果と福島支援資金で実施する妥当性（来年度以降の費用負担にかかる予測を含む）。技術的な信頼性担保の方策。
  - 今年度事業開始時にも指摘され、閉鎖を含めた検討をすることになっていた仙台事務所の継続についての根拠。

（5）追加議案：次期事業審査委員長の選任について

- 4月は永井委員を暫定的な事業審査委員長とする。
- 事業審査委員長の互選については、引き続き来年度も事業審査委員を務める5人で話し合い、必要に応じて臨時事業審査委員会を開いて対応する。
- 5月の事業審査委員会での互選、理事会での承認を目指す。

5 報告事項

- (1) 休眠預金等活用事業2020年度通常枠プログラム 災害時の情報共有システムに関する条件確認について
- (2) 「イエメン人道危機対応プログラム」事務局による評価結果報告
- (3) 事業実施・助成ガイドラインの改定について
- (4) アイキャン（ICAN）カテゴリー更新取り下げについて
- (5) 認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちねの新規加盟について

6 書面による報告

- (1) NGOユニットからの報告
- (2) 事業計画変更の報告
- (3) JPF事務局審議結果の報告
- (4) 固定資産処理の報告
- (5) 終了報告書審議結果の報告
- (6) コアチームの報告
- (7) 新型コロナウイルス感染症に対する対応指針4(4)に基づく報告

7 次回以降の事業審査委員会開催日時と会場について

- 2022年度第1回事業審査委員会：2022年4月20日(水) 麴町GN安田ビル4F会議室  
2022年度第2回事業審査委員会：2022年5月20日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室  
2022年度第3回事業審査委員会：2022年6月23日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室  
2022年度第4回事業審査委員会：2022年7月22日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室  
2022年度第5回事業審査委員会：2022年8月25日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室  
2022年度第6回事業審査委員会：2022年9月22日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室